

平成30年度

函館・大沼・噴火湾ルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太朗	報告年月日: 2019/3/31
---------------------	----------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H30				活動状況資料番号	総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数		
景観	美しい景観とは何かについて考える	景観診断の参加	-	-	-	-	-	今後、景観に関する勉強会等を開催し、ルート内の景観阻害の改善に向けた取り組みにつなげていきたい。
		テーマごとのエリアの紹介	-	-	-	-	-	
	ビューポイントを発掘する	シーニックフォト倶楽部の設立	-	-	-	-	-	次年度以降は、ビューポイントの発掘に係る調査等を行い、活用に向けた検討を行っていきたい。
		シーニックバスツアーの開催	-	-	-	-	-	
		シーニックルートマップの作成	-	-	-	-	-	
		フォトコンテストの開催	-	-	-	-	-	
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	清掃活動の実施	シーニック清掃活動	函館・大沼・噴火湾ルート	平成30年4月29日	130名 主催者:100名 一般参加:30名	A - 1	ルート内のビューポイント周辺等における景観向上及びおもてなし活動として、シーニック清掃活動やお花の植栽活動を実施した。シーニック清掃活動では、今年度新たに1箇所拡大して実施し、次年度以降も拡大を視野に検討取り組みを進めていきたい。また、お花の植栽活動実施箇所における景観向上に向けた取り組みについても検討を行ってきたい。
			大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動	(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会等	平成30年4月22日(日)	約200名 主催者:10名 一般参加:190名	-	
			道道大沼公園線清掃	七飯町建設協会 協力:(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会	平成30年9月7日(金)	約130名 主催者:130名	-	
			-	-	-	-	-	
			大船遺跡清掃活動	北の縄文CLUB	平成30年4月14日(土)	12名 主催者:12名 一般参加者:0名	-	
		植栽活動の実施	はこだて花かいどう	函館花いっぱい道づくりの会	平成30年5月~10月	約1,100名(6/9植栽時) 主催者:650名 一般参加:450名	A - 2	
			湯の川温泉街花いっぱいロード	函館湯の川温泉旅館協同組合	平成30年5月~10月	約40名 主催者:30名	-	
			-	-	-	-	-	
さわらフラワーロード			森町花いっぱい運動推進協議会	平成30年5月~10月	約300名 主催者:300名	-		
八雲フラワーロード			八雲商工会女性部ほか 協力:(一社)八雲観光物産協会	平成30年5月~10月	約80名 主催者:80名	-		
	サルビア植栽	七飯町商工会	平成30年6月~10月	約20名 主催者:20名	-			
	景観阻害の改善	-	-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太朗					報告年月日: 2019/3/31	
		H30						
地域	自然を守りながらうまく活用していく	キャンプ&ラリーの開催	-	-	-	-	-	-
		横津岳ガイドツアーの開催	-	-	-	-	-	-
		八雲の遊楽部川に代表される自然環境教育プログラムの提供	-	-	-	-	-	-
		自然環境教育プログラムの提供	シーニックの森づくり事業 ~ススキ刈りとツル剪定~	函館・大沼・噴火湾ルート 協力: NGO函館自然観察会	平成30年8月19日(日)	約50名 主催者: 15名 一般参加: 35名	A - 3	自然環境教育プログラムの提供として、北斗市の広報誌を活用し、一般参加者を募り、シーニックの森づくり事業~ススキ刈り~を実施した。次年度以降も引き続き、広報誌を活用した参加者確保を図るとともに、既存イベント(きじひき高原まつり)を活用したPR・参加者確保を行っていききたい。
		その他	恵山高原ガイドツアー	NGO函館自然観察会	平成30年5月13日(日)	10名 主催者: 10名	-	
			第14回赤松こも巻き体験会	赤松街道を愛する会 協力: NPO法人エコロジークラブ	平成30年10月20日(土)	約90名 主催者: 10名 一般参加: 80名	-	
			第14回赤松こも外し体験会	赤松街道を愛する会 協力: NPO法人エコロジークラブ	平成31年2月22日(土)	約80名 主催者: 10名 一般参加: 70名	-	
	ガイドの発掘・育成	大沼公園ボランティアガイド研修会	-	-	-	-	ガイドの発掘・育成については、次年度以降検討を行っていききたい。	
			-	-	-	-		
		ガイド発掘・育成のための連携づくり	-	-	-	-		
	地域と来訪者の心をつなぐ	人と人とのふれあい方について勉強する	キャンドル製作体験会in五稜郭タワー	シーニックdeナイト実行委員会	平成31年1月26日(土)	約150名 主催者: 50名 一般参加者: 100名	-	
			キャンドル製作体験会in石川町会館	石川町会 協力: NPO法人スプリングボードユニティ21等	平成30年12月9日(日)	約100名 主催者: 10名 一般参加者: 90名	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
キャンドル製作体験会in石別地区住民センター			石別地区創生会議 協力: NPO法人スプリングボードユニティ21等	平成30年12月8日(土)	約70名 主催者: 5名 一般参加者: 65名	-		
キャンドル製作体験会in八幡町会館			シーニック・キャンドルナイトin2018 キッズユニオン実行委員会 協力: NPO法人スプリングボードユニティ21等	平成31年1月19日(土)	約80名 主催者: 70名 一般参加者: 10名	-		
キャンドル製作体験会in第4東光保育園			(一社)北斗市観光協会 協力: NPO法人スプリングボードユニティ21等	平成31年1月31日(木)	約25名 主催者: 5名 一般参加者: 20名	-		
光の街の手工芸家達の作品展12			函館手工芸の会	平成30年10月6日(土)~11日(木)	約1,860名 主催者: 60名 一般参加: 1,800名	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太朗					報告年月日: 2019/3/31	
			H30					
地域	内部的な関心の共有、意識醸成	函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧作成	函館・大沼・噴火湾ルートメーリングリストによる情報発信	函館・大沼・噴火湾ルート	平成30年度	-	-	函館・大沼・噴火湾ルートメーリングリストによる、地域情報等の共有や勉強会、実行委員会等を開催した。次年度以降も、メーリングリストによる情報共有など、内部的な関心の共有、意識醸成を図っていききたい。
			函館・大沼・噴火湾ルート活動団体一覧更新	函館・大沼・噴火湾ルート	平成30年度	-	-	
		その他	-	-	-	-	-	
			第1回シーニックdeナイト2019実行委員会	シーニックdeナイト実行委員会	平成30年12月14日(金)	約20名 主催者:15名 一般参加者:5名	-	
	地域メディアとのタイアップ	FMIあるかの情報誌「いるか通信」に特集記事掲載	-	-	-	-	-	札幌駅前通地下歩行空間等にて、タペストリーの展示や物販等によるルートのPRを実施。次年度以降も、積極的にルートのPRを行っていききたい。
		FMIあるかの特別番組による情報発信	-	-	-	-	-	
		FMIあるかの特別番組「8月10日「道の日」による情報発信」	-	-	-	-	-	
		その他	Welcome! シーニックバイウェイ北海道@チ・カ・ホ2018春	シーニックバイウェイ北海道推進協議会 協力: 函館・大沼・噴火湾ルート等	平成30年6月16日(土)~17日(日)	約2,500名 主催者:50名 一般参加者:2,450名	-	
	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発	シーニックかるたの作成	-	-	-	-	-	多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発・販売を今後行っていききたい。
		地域資源を説明するカードの作成	-	-	-	-	-	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太朗					報告年月日: 2019/3/31		
			H30						
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	バル街V協賛イベント「街なか探訪・学びツアー」開催	-	-	-	-	-	縄文文化を地域住民や観光客に体験できるプログラムを作成、実施した。参加人数が多いプログラムは、キッズを対象としたものとなっている。次年度以降も、キッズプログラム等、より多くの参加者を獲得できるようPRの充実を図っていききたい。	
		「旧恵山町のブナ林と春の野の花の観察と生きた火山恵山とその周辺の歴史を学ぶツアー」開催	-	-	-	-	-		
		「鹿部町間歇泉とホタテの耳吊り体験ツアー」	-	-	-	-	-		
	縄文文化を体験	縄をよってつくるしおりづくり	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団		平成30年5月3日(木)	102名 主催者:2名 一般参加者:100名	-	縄文文化を地域住民や観光客に体験できるプログラムを作成、実施した。参加人数が多いプログラムは、キッズを対象としたものとなっている。次年度以降も、キッズプログラム等、より多くの参加者を獲得できるようPRの充実を図っていききたい。	
		黒曜石で矢じりづくり	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団		平成30年9月30日(日)	6名 主催者:2名 一般参加者:4名	-		
		秋の自然観察会	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団、北の縄文CLUB		平成30年10月21日(土)	22名 主催者:2名 一般参加者:20名	-		
		縄文文化体験講座	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団		平成30年8月5日(日)	20名 主催者:2名 一般参加者:18名	-		
		南かやべ縄文まつり2019	函館市縄文文化交流センター 協力:(一財)道南歴史文化振興財団		平成31年2月3日(日)	52名 主催者:2名 一般参加者:50名	-		
		-	-		-	-	-		
	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	縄文文化を体験	縄文のアクセサリーづくり	北の縄文CLUB		平成30年9月29日(土)	10名 主催者:2名 一般参加者:8名	-	縄文文化を地域住民や観光客に体験できるプログラムを作成、実施した。参加人数が多いプログラムは、キッズを対象としたものとなっている。次年度以降も、キッズプログラム等、より多くの参加者を獲得できるようPRの充実を図っていききたい。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート		報告者: 函館・大沼・噴火湾ルート 代表 金道 太朗					報告年月日: 2019/3/31	
			H30					
観光		縄文文化を再現し、体験する歴史探訪ツアー	-	-	-	-	-	平成18年度から継続しているシーニックdeナイトを実施した。今年度は、全自治体で実施し、キャンドル製作体験会など次世代を担う子供たちなど、より地域も巻き込んだ取り組みとして実施することができた。次年度以降も地域の拡大等団体相互の連携強化を図り、さらなる観光客の獲得を目指し、ツアーの造成等の検討、PRの充実を図っていききたい。
		西部地区の歴史的街並み探索ツアー	-	-	-	-	-	
		温泉宿泊施設を拠点に各種体験を交えた「癒し」のツアー	-	-	-	-	-	
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	ルート全体で取り組む「スマイルキャンペーン」	シーニックdeナイト2019	シーニックdeナイト実行委員会	平成31年2月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、24(日)	約1,500名 主催者: 200名 一般参加者: 1,300名	A - 4	
		場所を変えた観光分科会の開催	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
歴史を学び活かす		「函館の歴史を学ぶ」講座	-	-	-	-	-	縄文以外の歴史資源を活かした勉強会などを通して、今後函館の歴史を学べるような機会の創出を図っていききたい。
		「函館の港を船上から学ぶ」講座	-	-	-	-	-	

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニック清掃活動

- 【概要】平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を「シーニックの日」に制定し、国道沿線や観光地などを清掃するおもてなしの活動を行っている。今年度は、新たに1箇所拡大し、計5箇所を実施した。今後は、関係機関との調整を図り、実施箇所の拡大を目指す。
- 【日時】平成30年4月29日（日・祝）
- 【場所】五稜郭タワー周辺、函館市地域交流まちづくりセンター周辺、函館市縄文文化交流センター周辺、七飯町田園通り・高台通り周辺、函館市小安町入口交差点周辺
- 【主催】函館・大沼・噴火湾ルート
- 【参加人数】140名



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市地域交流まちづくりセンター周辺



▲函館市縄文文化交流センター周辺

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：第15回 国道5号函館新道花いっぱい活動 2018

【概要】 北海道命名150周年の年に「はこだて花かいどう」が今年で15周年を迎えた。函館の玄関口である国道5号函館新道インターチェンジ付近。開会式会場には、約1,100名の参加者が集う圧巻の光景が広がっていた。子どもからお年寄りまで一緒になって道路沿道に花を植え、訪れた方々をおもてなしする取組み。

【日時】 平成30年6月9日（土）

【場所】 国道5号函館新道インターチェンジ付近

【主催】 函館花いっぱい道づくりの会

【参加人数】 約1,100名（参加団体数：28団体、中高生の参加：406名

内訳 稜北高校：125名、桔梗中学校：165名、亀田中学校：116名）



▲（左上）15周年を記念して作成した缶バッジ

▲（右上）地元の小中高生がそれぞれ担当する植樹桝に花植えをする様子

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックの森づくり事業～ススキ刈りとツル剪定～

【概要】平成21年度から始まったルート連携活動。カーボンオフセットの考えを取り入れたCO₂削減を主目的とし、ブナの森を蘇らせるために、付近の山から山取りした苗木を約100本植栽している。最近では、苗木に被圧がかかっているススキなどの下草刈りを主に行っており、今年度は、「広報ほくと」を活用した参加者の獲得を行った。今後は、既存イベント（きじひき高原まつり）も活用した参加者確保を目指す。

【日時】平成30年8月19日（日）

【場所】きじひき森林公園の森

【主催】函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】約50名（主催者：15名、一般参加：35名）



▲開会式の様子



▲下草刈りの様子



▲参加者全員での集合写真

函館・大沼・噴火湾ルート

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックdeナイト2019

- 【概要】平成18年度から始まったルート連携活動。国道や道道沿線、観光施設や公園などに、全て手作りのワックスキャンドルを設置する取組。今年度は、計12箇所（内1箇所は強風により中止）全自治体で実施した。また、各会場では、手作りのワックスキャンドルで、シーニックのロゴマークにもなっているハート形を演出した。今後は、さらなる実施地域の拡大とツアー造成等による観光客の獲得を目指す。
- 【日時】平成31年2月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、16日(土)
- 【場所】五稜郭公園、函館市縄文文化交流センター、函館新道、はこだて朝市ひろば、函館市地域交流まちづくりセンター、亀田八幡宮境内（以上、函館市）、矢不來天満宮、茂辺地北斗星広場（以上、北斗市）、大沼国定公園（七飯町）、オニウシ公園（森町）、噴火湾パノラマパーク（八雲町）
- 【主催】シーニックdeナイト実行委員会
- 【参加人数】約1,500名（主催者：200名、一般参加：1,300名）



▲函館新道



▲五稜郭公園（函館市）



▲オニウシ公園（森町）



▲矢不來天満宮（北斗市）

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 函館・大沼・噴火湾ルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2019/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	美しい景観とは何かについて考える	—	—	—	—	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	—
	ビューポイントを発掘する	—	—	—	—		—
	ビューポイント周辺の景観向上に取り組む	シーニック清掃活動	平成30年4月29日(祝)	函館開発建設部、七飯町	シーニック清掃活動に参加した。また、HPによる情報発信を行うとともに、行政連絡会議を通じた活動の情報提供を行った。		A-1
		大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動	平成30年4月22日(日)	渡島総合振興局、七飯町	大沼国定公園安全祈願祭と大沼湖畔清掃活動に参加した。		—
		はこだて花かいどう	平成30年5月～10月	函館開発建設部、函館市	はこだて花かいどうにおける植栽や全体維持活動、撤去等に係る活動に参加した。また、HPによる情報発信を行うとともに、記者投込・各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		A-2
		湯の川温泉街花いっぱいロード	平成30年5月～10月	函館開発建設部	各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		—
		さわらフラワーロード	平成30年5月～10月	函館開発建設部、森町	各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		—
		八雲フラワーロード	平成30年5月～10月	函館開発建設部	各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		—
		サルビア植栽	平成30年6月～10月	函館開発建設部、七飯町	サルビア植栽活動に参加した。また、各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		—

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No		
地域	自然を守りながらうまく活用していく	シーニックの森づくり事業 ～スキ刈りとツル剪定～	平成30年8月19日(日)	函館開発建設部、北斗市	シーニックの森づくり事業 ～スキ刈りとツル剪定～活動に参加した。また、北斗市の広報誌「広報ほくと」に参加者募集の記事を掲載した。加えて、各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	A-3		
		第14回赤松こも巻き体験会	平成30年10月20日(土)	函館開発建設部、七飯町	こも巻き体験会に参加した。また、HPIによる情報発信を行った。		—		
		第14回赤松こも外し体験会	平成31年2月22日(土)	函館開発建設部、七飯町	こも外し体験会に参加した。また、HPIによる情報発信を行った。		—		
	ガイドの発掘・育成	—	—	—	—		—		
	地域と来訪者の心をつなぐ	キャンドル製作体験会in五稜郭タワー	平成31年1月26日(土)	函館開発建設部、森町	キャンドル製作体験会の活動に参加した。また、HPIによる情報発信を行った。		—		
		キャンドル製作体験会in石川町会館	平成30年12月9日(日)	函館開発建設部	キャンドル製作体験会の活動に参加した。		—		
		キャンドル製作体験会in石別地区住民センター	平成30年12月8日(土)	函館開発建設部、北斗市	キャンドル製作体験会の活動に参加した。		—		
		キャンドル製作体験会in八幡町会館	平成31年1月19日(土)	函館開発建設部	キャンドル製作体験会の活動に参加した。		—		
	地域	内部的な関心の共有、意識醸成	石田東生先生をお招きした函館・大沼・噴火湾ルート視察	平成30年8月9日(木)～10日(金)	函館開発建設部		石田東生先生をお招きした函館・大沼・噴火湾ルート視察に随同行した。	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	—
		地域メディアとのタイアップ	—	—	—		—		
多彩な世代に訴えかける情報ツールの開発		—	—	—	—				
観光	地域固有の資源を活かした観光メニューの創出	—	—	—	—	行政連絡会議を活用したルートが実施している活動に対する人・ものの支援とルートが行っている活動の積極的な情報発信を行っていききたい。	—		
	活動団体の連携強化と観光の質の向上	シーニックdeナイト2019	平成31年2月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、24日(日)	函館開発建設部、北斗市、鹿部町、森町	シーニックdeナイト2019に参加した。また、HPIによる情報発信を行うとともに、各種プロモーション等を通じた活動の情報提供を行った。		A-4		
	歴史を学び活かす	—	—	—	—		—		